

すこやかな成長を願って



4月29日(金)、嘉数高台公園内にある京都の塔で、「第12回平和祈念このぼりまつり」が行われました。県内にある各都道府県慰霊塔において一斉に掲揚するもので、市では嘉数区子ども会の子どもたちがこのぼりを掲げました。

守りたい伝統我如古サングワチャー



4月30日(土)、地域の豊年と子孫繁栄を願う、我如古サングワチャー(豊年祭)が、同公民館で開催されました。500年以上の歴史のある伝統の踊り「スンサーミー(市指定無形民俗文化財)」が、スンサーミー保存会の皆さんから披露されました。また、婦人会や老人クラブによる余興が披露され、会場は大いに盛り上がりました。

年金支給日の特殊詐欺未然防止



4月15日(金)、サンフティーマ普天間りょうぼうにて「年金支給日の特殊詐欺未然防止に向けた広報活動」が行われました。地域住民とともに宜野湾警察署の羽地署長と松川副市長が特殊詐欺未然防止に向けた呼びかけを行いました。

後世へうちなーぐちを!



4月25日(月)、市うちなーぐち会(與儀清子会長)は、市役所を訪れうちなーぐちテキスト「はにんすはごろも」CD版を贈呈しました。うちなーぐちの音声が録音されており学校現場等で活用される予定です。與儀会長は「後世にしまくとぅばを残したい。関心を持ってくれれば」と語りました。

熊本地震の義援金として市から寄付



5月24日(火)、佐喜眞市長は市からの300万円の義援金と、住民や市内団体(オフィスパルティータ、宜野湾整形外科医院、華ヌニッパチ有志会)、市職員などから集めた65万6,186円の義援金を、熊本地震で被災された方々への支援として、日本赤十字社県支部に寄付しました。

交通安全・防犯教室



4月19日(火)、大山小学校にて、宜野湾警察署、地区安全協会、地区防犯協会が大山小1年生および大山幼稚園の児童園児を対象に「正しい横断歩道の渡り方」や「いかのおすし(不審者をみかけたときの身の安全の守り方)」などを学ぶ交通安全・防犯教室を実施しました。

人権擁護委員へ委嘱状を伝達



4月18日(月)、法務大臣の人権擁護委員委嘱状の伝達式が市役所で行われました。佐喜眞市長が法務大臣からの委嘱状を富川盛光さんに手渡しました。人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け問題解決のお手伝いや法務局の職員と協力して人権侵害による被害者の救済、人権問題の啓発活動を行う民間ボランティアです。

「いかのおすし」下敷を新一年生に



4月21日(木)、子どもたちが不審者から身を守る標語「いかのおすし」のイラストが描かれた下敷がこの春小学校に入学した1年生に贈呈されました。下敷を贈呈したのは 宜野湾地区防犯協会、市教育委員会に1000枚を贈りました。贈呈を受けた知念春美教育長は「警察署・防犯協会と協力して、子どもたちの安全の確保に努めたい」と話しました。

災害時の機能移転訓練を実施!



5月11日(水)、宜野湾警察署は地震や津波など災害時に署の機能を真志喜から普天間基地を通過し、市役所前のJAおきなわジュビランスに移転する訓練を実施しました。その後、市職員や市内自治会長など関係機関と意見交換を行いました。

湧橋線(佐真下)が開通しました!



5月2日(月)、佐真下第二土地区画整理地区内で整備を進めてきた都市計画道路「湧橋(わくばし)線」が開通しました。湧橋線が開通したことで、周辺地域の生活環境向上が期待されます。本道路の開通にあたり、関係権利者の皆さまのご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

県税事務所とともに徴収強化!



4月25日(月)、コザ県税事務所、名護県税事務所の職員へ職務代理者の松川副市長から併任辞令が交付されました。市県民税を中心に、市と県税事務所が協力して徴収強化に努めます。県税職員の配置は平成23年度から継続して行われており、今年度も、収納率向上へ期待がかかります。

赤十字社資募集運動がスタート!



5月2日(月)、赤十字社資募集増強運動が始まり、今年も社資第1号として沖縄綿久寝具(株)から寄付金が贈呈されました。赤十字活動を支えるため、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。